

『こころ』ワークシート①

〔 〕〔組〕〔番〕

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを深めたりすることができる。

〈課題〉初発の『こころ』評を書こう。

- ・『こころ』のどこがおもしろい／つまらないと思ったのだろうか。また、それはなぜか。自分の感じたこと・考えたことを大事にして、人に伝わるように具体的に書こう。
- ・賛否どちらの立場で書くにしても、『こころ』という作品の特徴が明らかになるように書こう。

〈批評メモ〉

『ごころ』評

「

」



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



『ペーパーワークシート②』

〔 〕〔組〕〔番〕

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを深めたりすることができる。

〈課題〉これまでの『こころ』評を整理しよう。

問1 【資料1】【資料2】をもとに、『こころ』を批評する際の論点となりうるものを挙げなさい。

問2 【資料2】の文章に対して反論するとしたら、どのような反論がありうるか、例を挙げなさい。

問3 【資料1】【資料2】の文章をヒントに、『こころ』を批判的に論じるとしたらどのような方向性がありうるか、例を挙げなさい。

賛否いずれにせよ大事なのは、（

）こと。

『**いづる**』ワークシート③

〔 〕〔組〕〔番〕

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを論じたりすることができる。

〈課題〉『こころ』評のメモを作ろう。

着目したポイント①

着目したポイント②

タイトル「

」

☆
☆
☆
☆
☆

『パネルワークシート』④

〔 〕〔組〕〔番〕

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを論じたりすることができる。

〈課題〉『こころ』の評価をめぐってパネルディスカッションをしよう。

〈ルール〉

- ①自分の考えは、本文を根拠にして述べること。その際「上の○章」など、全員が確認できるように話すこと。
- ②発言する時には前の意見との関係性を示すこと。賛成、反対、質問、別の角度からの意見、話題を変えるなど。
- ③ひとつの意見を理解するために、しっかり質問すること。

〈メモ〉

対話を終えて、気付いたこと・考えたことを書いてみよう

①どのような発言が対話を深めていたか。

②次回さらによりよい対話するために、何に気を付けたいか。

③どのようなアイディアを自分の批評に取り入れたいか。

『ハルム』ワークシート⑤

〔 〕〔組〕〔番〕

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを論じたりすることができる。

〈課題〉『こころ』の批評文を書こう。

〈条件〉

- ① 1000～1200字で書くこと。
- ② 一か所以上、本文を引用すること。
- ③ 引用する際は、短い引用（二行程度）ならカギカッコで、長めに引用する場合（三行以上）は二字下げで書く。末尾の欄外に（上五）（下十二）など、どの章からの引用か明示すること。
- ④ 「名作」という言葉は必ずしも使わなくてもよいが、自分が「名作」派なのか「名作とは言えない」派なのか立場を明らかにして書くこと。
- ⑤ 読みたくなるタイトルをつけること。

〈メモ〉

『インク』『ワークシート』⑥

組番

☆単元の目標

文学作品の価値について批判的に検証し、他者と対話したり自分の考えを論じたりすることができる。

〈課題〉
これまでの学びを振り返ろう。

問 単元を通して学んだことを書きなさい。

- ・授業を通して文学作品に対する見方や考え方はどのように変化しましたか？
- ・授業を通してどのような学びがありましたか？それはなぜ重要ですか？

[illegible]